



2024年11月 1日

第407号

退教協 ニュース

第九演奏会・相双地区での開催の経緯

ーシリーズ「第九への道」(その4)ー

いわき市(大熊町) 久保田亮次

(前回までのあらすじ) 久保田さんの合唱団の定期演奏会も終わり、合唱活動はその後も進みます。久保田さんの合唱団の中での役目も高まり、中心的な立場を担っていくことになりました。

平成10年(1998年)頃。相馬・双葉地区の合唱団・コーラスグループの合唱活動が盛ん(例・コーラス交歓会など)。そして、原町の市民会館(ゆめはっと)などで団長・責任者の会が開かれ、相双地区での更なる合唱活動が常に話し合われていた。話の中で、誰とはなしに相双地区で初の第九演奏会を開催しようとの声。そして、是非実現しようと気運が高まった。



南相馬市女声合唱団
MJCアンサンブル
代表・金子洋一さん

鹿島コーラス指導者の金子さん(南相馬周辺の女子中・高生の女声合唱団の指導者で、海外での演奏活動も。私はTVでバチカン市国のものを観た)、浪江混声の団長の志賀雄一さん(令和になって浪江ふれあいセンターで相双地区の合唱愛好者による「土の歌」(佐藤真作曲。指揮者佐藤真さん。大合唱を原田さん達と共に。第七章「大地讃頌」は観客と共に)他に推進役。そして、相双地区のすべての合唱

団、コーラスの責任者も加わり「第九演奏会・相双地区実行委員会」が立ち上げられ、出演者の希望をとりまとめ始められた。双葉郡コーラス交歓会にもなげかけられた。



私は、平成9(1997)年から浪江混声の(男)副団長の任にあたり、志賀団長さん宅を訪れていた。そして、第九演奏会出演のお誘い、出演する

その後、相双の合唱・コーラスの会員、合唱愛好者にも呼びかけられ、第九の大合唱団が。実行委のご尽力で「平F G（エフゲー）混声合唱団」の賛助出演も実現。

出演希望者へ「ベートーベン第九」の楽譜配布（有料）。パートごとの練習用テープも。

by Monster 

1.V. バートベン

f
Freu- de, schö- ner Göt- ter- fun- ken, Toch- ter aus E-
フロイ デー シュー ネル ゲッ テル フン クン トホ テル アウス ヌ

sf
ly si um, wir be- tie ten teu er- ten ken, himm li
リー ズィ ウム, ヲールベ トレーテン トイニル トンケン ヒム リッ

sf
sche, dein Hei- lig- tum! Dei- ne Zau- ber hin- den wie- der,
シェダイン ハイ リッヒ トゥム, タイ ネ ツァウベル ビン デン ヲィーテル

ff
was die Mo- de streng ge- teilt; al - - le Men- schen wer- den
ヴァスティーデー モーデ シュトレンゲ タイルト アーレメン ション ヴァルデン

sf
Brü- der, wo dein sanf- ter Flü- gel weilt; Dei- ne Zau- ber
ブリューデル ヴォーダイン サンフテル フリューゲルヴァイルト タイネ ツァウベル

ff
hin- den wie- der, was die Mo- de streng ge- teilt; al - - le
ビン デン ヲィーテル ヴァスティーデー デーモデ シュトレンゲ タイルト アーレン

sf
Men- schen wer- den Brü- der wo dein sanf- ter Flü- gel weilt,
メン ション ヴェル ブンブリューデル ヴォーダイン サンフテル フリューゲル ヴァイルト

(おひさまの翼が覆ってくださいます)

今回は、鹿児島県の肝付町教育長の木村政文さん（浪江町・元大熊町教育長）の原稿を掲載いたします。さらに次の回では、江又トミさんの原稿を掲載いたします。

久保田さんからの原稿では、(5回目)として以下の原稿が送られていました。「会報」として掲載するよりも、資料として会員のみなさまにお届けした方がよいかと考えました。

.....

年末に毎年、テレビ、ラジオから流れる大作曲家ベートーベンの「第九」の演奏の様子。活力あふれる情感豊かな旋律「第九」がストレートに聴衆に届く。「第九」は戦後まもなく、オーケストラが歳末のお小遣いを稼ぐために12月に演奏し始めたなど諸説がある。その最終楽章(第4楽章・合唱付)「歓喜の歌」は「すべての人々は兄弟になる」と崇高な精神をたたえている。人間愛にあふれた名曲の一つである。

ベートーベン。〈正式名〉は、ルートビッヒ・バン・ベートーベン。1770年12月、ドイツ西部の都市ボンで生まれた。2020年は生誕250年の節目にあたった。

〈生涯〉

20代初めに、現在のオーストリアの首都ウィーンに移り住み、新進のピアニスト・作曲家として活躍。しかし、30歳前から聴力が落ち、一時は遺書をしたためるほど落ち込んだ。しかし、強い精神力で危機から立ち直ったベートーベンは、1827年3月に56歳で死去するまで精力的に作曲を続け、出版の際につけられた作品番号だけで138ある。



〈代表作〉

オーケストラのための9つの交響曲があげられる。特に、「運命」(第5番)、「田園」(第6番)、「第九」(第9番)で呼ばれている交響曲が人気。その他、ピアノソナタ、「月光」(第14番)や「熱情」(第23番)といった、通称ソナタが広く弾かれている。

(毎日新聞、3面の下部「なるほど」から～2019年12月29日付)

2024年12月 1日

退職教職員協議会双葉支部会員のみなさま

福島県退職教職員協議会

双葉支部 事務局

退教協双葉支部「退教協ニュースNo.408号」 の送付にあたって

10月に行なわれた衆議院選挙による「少数与党」となった自民・公明は、野党との協力関係を模索することとなりました。現時点では「国民民主」と政策協力を進める方向ですが、まだまだ不透明です。与野党とも、来年の参議院選挙を見据えた駆け引きが今後続くと思われますが、少なくともこれまでのような「数の力」による強引な国会運営はできないはずです。「熟議」と野党は言いますが、国民に目を向けた議論が行われることを期待しています。

そうした中、アメリカ合衆国ではトランプ元大統領の返り咲きが決まりました。今、閣僚の選考をしていますが、報道によればトランプ氏の「アメリカ第一主義」を推し進める人たちばかりのようです。トランプ氏が目指すものは国どうしの摩擦を生む危険性が大きくあります。ロシアとウクライナ、アラブ国家とイスラエルの紛争が続く中、戦闘がこれ以上拡大しないことを祈るばかりです。また、そうした紛争・戦闘に日本が巻き込まれないよう、与野党の別なく日本の政治家は努力していく義務があります。「教え子を再び戦場に送らない」ために、さまざまな場で「平和」な国づくりを訴えていきましょう。

フレイル 【続編】

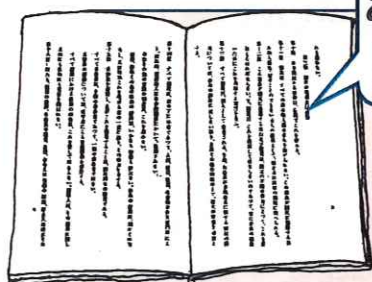
「フレイル」(406号)の続きです。 **次の症状があったら「要注意!」**

☐意図しない年間4.5～5%以上の体重減少 ☐疲れやすい ☐何をするのも面倒だと週に3～4日以上感じる ☐歩行速度の低下 ☐身体活動量の低下 ☐階段の昇り降りがつらい ☐ペットボトルのふたが開けづらくなった ☐物忘れが多い ☐まったく外出せず、気力もない

※フレイルは、早く見つけて早く治療を開始すれば、元の元気な状態にも戻ることができ、健康寿命も延びることがわかっています。早めの受診を！

新シリーズ「あらためて 日本国憲法」

406号(10/1発行)で、日本国憲法の「平和主義」を振り返り「第九条」を載せました。その頃は、NHK朝の連続ドラマ「寅に翼」が終了したときでした。視聴していた方も多くいらっしゃると思います。憲法学者の元早稲田大学教授の水島秋穂さんは、ドラマ開始直後から「名作になる」と話していました。



あらためて

日本国憲法

【第十三条】 すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。

今回は、ドラマの中で法律事務所の壁に書かれていた条文が「第十三条」です。ドラマでは同性カップルや車いすの女性、朝鮮出身者が登場します。現在は、国会で夫婦別姓が取りざたされ、「結婚に相当する関係」としてパートナーシップ制度を制定した自治体もあります。少しずつではありますが、多様な考え方や生き方が尊重される社会環境が整ってきています。十三条の理念は、ようやくこの日本でい

かされつつあります。今後も「憲法をい

かす」取り組みを進めていきましょう。

12月からマイナ保険証による
受診を基本とするしくみに移行し
ます。次号で詳しいことを取り上げ
る予定です。

原稿を
お待ちしております
います



なぐり書きでも結構です。用紙もどんなものでもかまいません。テレビや映画などの感想も大歓迎です。ぜひ、投稿をよろしくお願いいたします。お待ちしております！

○ 住所等の変更及び会報の原稿は、下記の連絡先までお願いいたします。

○ 連絡先 (事務局長) 柴口正武 宅

〒976-0036 相馬市馬場野字寺内175-5

※ 電話は 090-2604-8941

※ ファックスは 024-522-7751

(弘済会福島支部/柴口勤務先)

※ 電子メールは shibaguchi0211@gmail.com



2024年12月 1日

第408号

退教協ニュース

鹿児島では、桜が開花・・・

鹿児島県肝付町（浪江町）木村政文

現在鹿児島県肝付（きもつき）町教育委員会教育長。東日本大震災後、相双教育事務所次長時代には、被災地である相双地方の各学校の管理運営や教職員の勤務労働の改善に加え、県内各地に避難しながら学校に勤務していた私たち双葉郡の教職員の人事異動の際には大変お世話になりました。当時双葉支部長をしていた私は、何度となく組合員の現状を伝え、避難者に寄り添った教職員配置をお願いしてきました。その後、相双教育事務所長を経て、退職後は大熊町の教育長にも就任されました。406号で原稿の投稿をお願いした際に送っていただきました。掲載が遅れましたことお詫びいたします。

9月17日の鹿児島県の地元紙に「肝付町の波野中学校の校庭の桜が、季節外れの花を咲かせている。例年は春に見られる白っぽい花が秋にも登場、目にした人を楽しませている。」という記事が載りました。地元テレビでの放映もあり、町内が賑わっています。

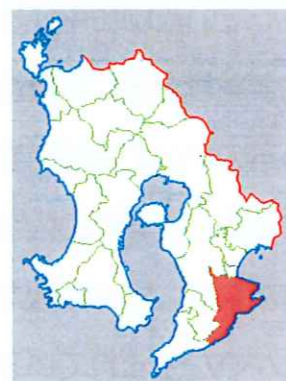
（異常気象のためと思いますが・・・）



肝付町のホームページより

日本初の人工衛星（おおすみ）、小惑星探査機（はやぶさ）などを打ち上げた内之浦宇宙空間観測所がある「やぶさめとロケットの町」肝付町は、鹿児島県の南に突き出し

た大隅半島の東側に位置しています。



鹿児島県肝付町

ところで、福島県とは、縁もゆかりもない町と思っていた肝付町ですが、福島市の生まれで、NHK朝の連続小説「エール」の主人公のモデルであり、福島市の名誉市民でもある古関裕而と縁がありました。何と町内の内之浦小学校の校歌の作曲者でした。

古関裕而は、校歌も数多く作曲していますが、内之浦小学校の校歌は、現存する校歌として全国で最も古い可能性があるとのことでした。

作曲に至った経緯を校長先生にお聞きしましたら、作詞者の田中親人氏（内之浦小学校の初代PTA会長、元内之浦郵便局長）の親戚の方が、古関裕而の親



肝付町教育長に就任されたときに、柴口が送った似顔絵です。

友だったことがきっかけのようです。

ぜひ、双葉支部会員の皆様も肝付町に関心を持っていただき、何か縁をつないでいただければ幸いです。

九州には、木村さんの他、以前に原稿をお寄せいただいた山田幸江さんが宮崎にお住まいです。

文字通り全国に散り散りになった会員をつないでいるのがこの会報です。先日には、ある方から前に掲載した原稿の内容についての問い合わせがありました。この会報がきっかけとなって新たなつながりが生まれていることも実感しています。東日本大震災から14回目の年末年始を迎えます。私たちの生活もその都度変わってきました。みなさまが、心穏やかに新年を迎えられますよう願っています。

次回の「年始号」では、江又トミさんの原稿をお届けいたします。

他人様の事を

by Monster 松

